

ながら町議会だより

編集 長柄町議会広報編集特別委員会

主な内容

第4回定例会

定例会で決まったこと	10
一般質問（5名）	12
委員長報告	17
編集後記	18

第4回定例会

平成30年長柄町議会第4回定例会は、12月10日から11日までの2日間を会期として開催されました。提出された議案等は、議案5件、認定1件、発議案1件ですべて原案のとおり可決、認定されました。

第4回定例会 議案等審議結果一覧

議案名	議員名	結果			川嶋朗敬	鶴岡喜豊	池沢俊雄	三枝新一	山崎悦功	本吉敏子	山根義弘	古坂勇人	関氏之輔	神崎好功	星野一成	月岡清孝	
		議決結果	賛成	反対													
議案第1号	平成30年度長柄町一般会計補正予算（第4号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	平成30年度長柄町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	平成30年度長柄町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	平成30年度長柄町浄化槽事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	長柄町太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第1号	平成29年度決算認定について	原案認定	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議案第1号	長柄町議会傍聴規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※ ○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、議長は裁決に加わらないため「—」で表示

補正予算

議案第1号 平成30年度長柄町一般会計補正予算（第4号）

予算現額に5,743万5千円を減額し、補正後の予算総額を38億6,848万7千円とするものです。

主な内容は、平成29年度児童手当の額の確定に伴う返還金及び町鳥獣被害防止対策協議会補助金の増、長柄中トイレ改修事業に係る経費の減などです。

議案第2号 平成30年度長柄町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

予算現額に100万円を増額し、補正後の予算総額を10億272万7千円とするものです。

主な内容は、一般被保険者療養費の実績見込みによる増です。

議案第3号 平成30年度長柄町介護保険特別会計補正予算（第3号）

予算現額に20万2千円を増額し、補正後の予算総額を7億4,093万円とするものです。

主な内容は、国の介護認定審査会運営要綱改正に伴う介護保険関連システムの改修業務に係る委託料及び長生郡市広域市町村圏組合への介護認定審査会負担金の増によるものです。

議案第4号 平成30年度長柄町浄化槽事業特別会計補正予算（第2号）

予算現額に70万円を増額し、補正後の予算総額を6,670万円とするものです。

主な内容は、4月の人事異動に伴う人件費の増によるものです。

条例の制定

議案第5号 長柄町太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の制定について

近年、地球温暖化防止の観点から、再生可能エネルギー推進が国策として急進し、未利用地の有効活用につながる大規模な太陽光発電設備が全国的に活発化している中、設置に関するトラブルや運用中の光害、更には事業完了後の大量廃棄問題など、様々な課題が浮き彫りになっております。

本町では条例を制定することで、地域環境の保全や良好な生活環境を図り、町民の安心と安全を確保しようとするものです。

決算認定

認定第1号 平成29年度決算認定について

閉会中の継続審査として常任委員会に付託されていた平成29年度決算について、委員長から各会計の決算審査報告がありました。

議員発議

発議案第1号 長柄町議会傍聴規則の一部を改正する規則の制定について

標準町村議会傍聴規則の一部改正に伴い、長柄町議会傍聴規則の一部を改正するものです。

主な改正の内容は、傍聴の手続について個人情報保護の観点から、現行の傍聴人受付簿ではなく傍聴人受付票に改めるものです。

一般質問

— 議員5名が町政を問う —

三枝新一議員（一問一答方式）

問 重いランドセル、重いカバンについて

議員①

重いランドセル、特に小学生低学年、重いカバンについてどのように考えているのか伺う。

議員②

文科省の通知に対し本町は、どのような対策を考えているのか伺う。

教育長①②

国のゆとり教育からの転換により、教科書等も厚くなったり、体験学習や社会学習や社会等の要請により、ランドセルやカバンのほかに学校への持ち込みも多くなった。

重いランドセルによる小学生への健康が心配されている。

今年、9月6日付けの文科省からの連絡を受け、発達段階に応じて学校に持参する荷物量などを調整し、適切な対応を行い子供達の健康、安全を守っていきたい。

議員

ランドセル等の小学校、中学校の重さは今までの位であったのか伺う。

学校教育課長

長柄小は、ランドセル4.58kg、手荷物1.23kgである。日吉小は、ランドセル4.3kg、手荷物2.4kgである。長柄中は、男子

7.4kg、女子8kgである。

議員

現在の重さはどの位か伺う。

学校教育課長

日吉小は、ランドセル4.06kg、手荷物0.7kgである。

議員

置き勉についての具体的な考え方について伺う。

学校教育課長

小学校では、国・算・理・社、中学校では、5教科のほか資料等は学校に置くことを認めている。

議員

重いランドセル、重いカバンの通学で体調に異常を訴えた児童はいたか伺う。

学校教育課長

体調の異常を訴えた児童はいない。



問 長柄町特別奨励作物栽培について

議員

大豆の平成29年、平成30年の作付面積、生産量を伺う。

町長

作付面積は平成29年が1ヘクタール、平成30年が2ヘクタール、生産量は平成29年が1.2トン、平成30年が2.2トンを見込んでいます。

議員

平成29年、平成30年のみそ生産量に対する大豆の使用量、又本町の大豆使用割合を伺う。

町長

平成29年、平成30年ともみそ生産量は8トン。大豆の使用量は3割で2.4トン。使用割合は、平成29年が50%、平成30年は90%を見込んでいます。

議員

今後、大豆生産の新規就労者の募集等をどのように考えているのか伺う。

町長

新規就農者情報の発信、PR、募集活動を行い、新規就労者受け入れ、育成体制の整備を図っていく。

議員

収穫時の脱穀機の購入の補助は考えているか伺う。

産業振興課長

個人に補助金は厳しい。組合に対しての補助は可能と考える。

議員

生産者に組合設立のアドバイスをしたことはあるか伺う。

産業振興課長

具体的にすることはない。

議員

前回、大豆以外の2品目について奨励品種から外したとの問に対し、さくらの郷で新メニューを開発しているとのことであったが開発されたか伺う。

産業振興課長

具体的に決まった動きはない。

本吉敏子 議員（一問一答方式）

閻ブロック塀の安全対策について

議員

通学路のブロック塀の危険箇所の調査と対策について伺う。

町長

小学校を中心とした500メートル以内、いわゆるスクールゾーン及び通学路の調査を行い、町のホームページ、7月の広報にて地震等の災害に備えた防災体制の再確認について周知した。スクールゾーンの該当ブロック11カ所について、対象となった方には点検結果及び資料を配付し、安全対策についてお願いをする。

議員

一般家庭の危険なブロック塀を点検した結果により、改修が必要な場合、経

済的支援、補助等の考えがあるのか伺う。

町長

住宅リフォーム補助金があるが、さらによいものを関係各課の中で調整し、改修制度の充実を図っていく。

議員

児童・生徒には学校側から、また教育委員会のほうからどのような注意喚起をされたのか伺う。

学校教育課長

強い地震があったとき、一時避難をする際、電柱及びブロック塀があるところについては、避難場所として避けていただき、ブロック塀は崩れてくる可能性があるため危険であると周知している。

議員

塀の所有者等に向けた安全点検について本町ではど

のように考えているのか伺う。

総務課長

12月の広報ながらに安全点検のチェックポイントの記事を掲載し、所有者に対する案内周知をしていく。



閻災害対策について

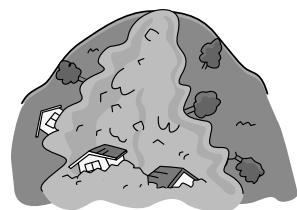
議員

台風の接近で避難所を開設しましたが、本町はどのような対応をされたのか状況を伺う。

町長

避難勧告等判断基準・伝達マニュアルに基づき、対応している。

9カ所の指定避難所からあらかじめ定められた開設順位により、順次開設する。



閻熱中症対策について

議員

小・中学校の特別教室のエアコンの設置状況を伺う。

教育長

長柄町の小・中学校の普通教室及び児童・生徒が授業で使用する特別教室ともに既にエアコン設置を完了している。

議員

部活動の運動も含めて、災害時に避難所となる学校体育館へのエアコン設置が必要と考え、設置の提案をするが考えを伺う。

教育長

通常の目的別使用頻度及び使用者の身体的影響等を総合的に判断して、現状

ではエアコン設置ではなくて、健康管理体制をしっかりとっていく。



閻子ども議会について

議員

以前にも子ども議会の提案をしたが、現在でも状況は変わっていないのか伺う。

教育長

子ども議会の開催は、子どもたちが議会の仕組みや主権者教育について考えるよい機会であるが、取り入れたい気持ちがあっても、限られた学習時間の中で難しい状況にある。



池沢俊雄 議員（一問一答方式）

問 教育環境整備及び通学路の安全

確保について

町長の2期目の町づくりの展望や課題として、小中一貫型校の整備を含めた町内2小学校の統合を進める方針であるとの考えであるが、この小学校統合に関して、今まで議会質問等では、児童数がさらに減少し複式学級が発生すると見込まれる状況になるまで、小学校の統合は時期尚早であるとの方針と認識していた。そこで、次のことについて伺う。あわせて、下校時の通学路照明の安全対策をどのように考えているのか伺う。

議員

小学校の統合に関しては、選挙公約にはなかった。小学校統合について新たに方針の変更をした理由

はなぜなのか伺う。

町長

当時の出生数をもとに時期尚早とし、日吉、水上両校の統廃合から、まだ4年余りといった時期であり、新たな統合議論の時期ではないという判断を含めて答弁した。期限を切らずに調査検討、幅広い議論などを開始し、任期中に一定の本町の義務教育、学校のあり方を示すことが肝要と考えた。

議員

小学校統合への道筋として、今後どのように進めていく考えなのか伺う。

町長

長柄町小学校のあり方検討委員会に諮問をさせていただき、有識者などのご意見を伺いたい。

議員

小中一貫型校の整備も含め、再編を視野に入れたいといけないとあるが、現長柄中学校を基本校舎として想定しているのか伺う。

町長

郷土長柄の将来を担う子供たちのために、本町の児童・生徒の教育環境、育ちの環境の充実を第一とし、諮問委員会の有識者や教育委員会のご意見を伺い、そして議論を深めながら検討していきたい。

現段階では全く白紙である。

議員

長柄小学校児童の下校時における通学路、国府里方面、中野台方面、道脇寺方面の一部照明が暗く、児童の安全な下校を確保するための対策をどのように考えているのか伺う。

教育長

道脇寺方面の照明については、防犯灯の増設を今年度中に行う。

小学校の下校時刻については、日没時間を基準とし、逆算して下校時刻を決定しており、全ての児童が日没までに帰宅できるように校長会でも確認した。



問 稲作農業の振興策について

議員

本町の基幹産業は農業で、中でも稲作農家が大半を占めているのが現状である。

農業従事者の高齢化が年々進み、稲作経営をやめる農家が増加し、現状の水稲の経営形態としては営農組合に耕作を依存するか、

地域の営農者に耕作を委ねる営農形態のいずれかが主流である。

営農組合、地域営農者にも若者の後継者不足が懸念され、このままの状況で推移した場合は受け手も不足し、農地の荒廃がますます増加することが懸念されるが、今後の町の水稲営農振興策及び保全策をどのように考えるか伺う。

町長

営農組合及び集落営農組織に対する町農業団体振興事業補助金を見直したい。

また、農地中間管理事業を推進するとともに、新規就農者の受け入れ・育成体制の充実を図るとともに、千葉県農業総合支援センターを活用することにより新規就農者の確保に努め、一歩ずつ着実に諸問題を解決していきたい。



山崎悦功 議員（一問一答方式）

（ながら町民クラブ）

間長柄町第5次総合計画について

議員

来年度以降の第5次総合計画作成のプロセスをどのように考えているのか伺う。

町長

次期総合計画は2020年度中に策定をする。そのため、2019年に町民アンケートや※ワークショップを実施していきたい。それらの成果は、町民の意見や意識、ニーズを捉え、新総合計画の基礎資料とする。

その他、策定段階では（仮称）まちづくり委員会を諮問会議とは別に立ち上げ、移住者や若者、高齢者など多様なご意見を取り入れながら、策定作業を進める。

※ワークショップ：町と町民が計画について意見交換を行うもの

議員

第4次総合計画をどのように検証し、第5次総合計画策定に反映するのか伺う。

町長

人口や観光入り込み者数のような、数値として比較の評価できるものについての検証はもとより、来年度実施予定の町民アンケートの結果から、町民の施策に対する評価や満足度の増減を知ることが挙げられる。そして、6本の柱に基づく施策の一つ一つを、役場の全職員で検証することが大事と考えている。

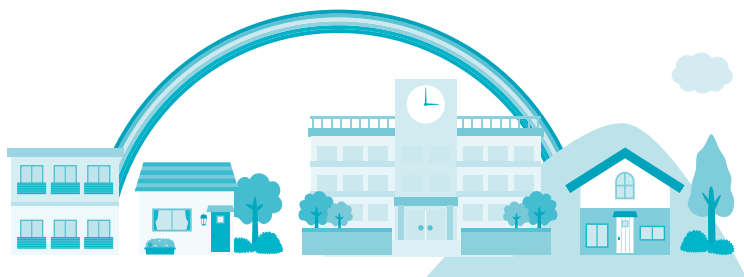
議員

全職員で検証するとのこと

とだが、基本的にどのような検証しようとしているのか伺う。

企画財政課長

各課の係長レベルで構成する幹事会、副町長と教育長を含めた管理職で構成する委員会を設置し、全職員からのボトムアップによる意見の集約を行い、職員一丸となって策定に取り組みたい。



間長柄町平成31年度予算編成と重点施策について

議員

平成31年度予算編成方針について考えを伺う。

町長

第4次総合計画及び長柄町まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定されており、定められた目標の達成に向け、計画のさらなる推進に注力していく。

議員

平成31年度重点施策について考えを伺う。

町長

9月に表明した所信の具現化に向けて、一つ一つ着実に取り組んでいく。

議員

どのような事業が重点施策に入っているのか伺う。

企画財政課長

長柄町版大学連携型生涯活躍のまち構想に基づき、まち・ひと・しごと創生総

合戦略の中に掲げてある事業を着実に実現していく。

基盤の整備では、（仮称）茂原長柄スマートインターチェンジアクセス道路整備など、周辺の整備事業や地籍調査事業のさらなる推進。

保健・福祉の充実では、健康ポイント事業の拡大推進、介護予防事業の充実。教育・文化の充実では、中学生国際交流事業の継続と推進、新公民館の建設事業。

生活環境の整備では、移住定住推進事業の推進。産業の振興では、耕作放棄地問題と鳥獣被害防止対策に係る事業の推進、また集落宮農の推進。

地域行財政の充実では、行財政改革の推進である。

その他として、児童公園の建設、小中一貫型校も含めた小学校統合に係る検討開始、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けた国際交流の推進などである。

川嶋朗敬 議員（一問一答方式）

問多文化共生の地域社会づくりについて

議員①

今後、グローバル化の進展と少子高齢化による労働力の減少傾向から外国人の増加は、不可避と予想される。「多文化共生の地域社会づくり」の実現に向け外国人住民への支援を行うと同時に地域社会の構成員として、社会参画を促す仕組みが重要である。外国人住民が、定住生活する上で、必要となる日本の社会システムなど様々な課題を自治体において地域の実情を踏まえどのように支援するか伺う。

町長①

現在、本町における外国人住民の割合は、約1.4%で、在留資格は、日本人の配偶者や子など、日本人の

家族となつていらっしゃる方が、約56%で、約44%の方が、就労ビザや技能実習のために、日本に来られている方々である。

町は、国籍に関係なく住民登録をされている方々に等しく住民サービスを提供し、今後の新制度導入に向け、政府の動向にも注視しながら、共生社会の実現に努める。

議員②

外国人住民の増加と定住化に伴い、行政が直面するニーズは、多様化複雑化している。このような現状で、外国人住民と日本人住民がお互い良い関係の地域社会を形成し、同じ地域住民として溶け込み助け合えることができる様な信頼関係を築ける外国人住民の自助努力を支援する取り組みを伺う。

町長②

外国人との共生は、雇用の確保のみならず、居住をはじめ、医療・福祉・教育など多岐に渡る。現在も多くの外国人が本町に住んでいるが、今以上に外国人が増加することを想定し、問題意識をもつて研究する。

問高齢者の住み続けられる街づくりについて （今日から俺は免許がない！未来へ繋がる地域の足の確保）

議員

食料等の日用品の買い物に不便や苦労を感じる「買い物弱者」が社会問題となっている。買い物弱者の課題は地域の特性や高齢者の希望に、沿った形で対応するには様々な選択肢が想定される。

特に高齢者の運転免許を持たない方（免許証返還含む）の買い物サービスの提供が求められる。持続的に

支援して行くうえで、町民自ら「自分ごと」として町の将来を、考え行動を促す仕組み作り及び、町民と行政が双方方向のコミュニケーションで進める街づくりを今後どう進めるか、具体策を伺う。

町長

本町では、高齢者の外出支援事業として、タクシーの一部助成を昨年10月から開始し、また、本年4月

からは、路線バスの利用料の半額助成制度もスタートをさせた。利用者は、徐々に増加しており、一定の評価をしている。来年度以降も継続したい。町民巡回バスにつきましては、以前から、利用者数の減少などから、継続の是非が問題とされてきたが、これから新たな助成制度の開始を受けて、「長柄町路線バス等検討委員会」に諮問する。有識者のご意見などを伺ったうえで、判断する。



決算常任委員会

平成29年度決算が認定されました

10月17日、18日に開催された決算常任委員会で第3回定例会により付託された「平成29年度決算審査」を行い、総務事業並びに住民教育所管の決算を認定しました。また、各常任委員会での主な質疑応答は以下のとおりです。

総務事業常任委員会 質疑応答

(神崎委員長、池沢副委員長、月岡委員、星野委員、古坂委員、山根委員)

質疑	農業振興地域整備計画策定業務について、現状の進捗状況はいかがか。また、今後のスケジュールはどのようにしているのか。農振見直しに取り組む町の考え方を伺う。
答弁	スマートインターが開通する予定なので、その周辺の土地利用計画を立ててはどうかという意見をいただいたため、本年度は農振見直し作業は実施していない。当初は平成29年度から平成31年度までの3年間を計画していたが、企画財政課と協議し、今は一旦白紙としている。
質疑	国の補助金を活用した電気柵の設置率はどのくらいか伺う。
答弁	1/3程度である。
質疑	町営住宅の収入未済額はいくらか。また、連帯保証人にも催促しているか伺う。
答弁	現年分が14件で132万6,500円、過年分が6件で218万8,000円である。明け渡しの強制執行は行っているが、連帯保証人への法的措置は実施していない。
質疑	浄化槽事業特別会計の修繕費について将来的な資金繰りはどうする考えなのか伺う。
答弁	国の補助制度の活用等も含めて検討したい。
質疑	ふるさと納税の返礼率はどれくらいか伺う。
答弁	平成29年11月から3割以下とした。それ以前は5割以下の返礼率である。
質疑	地域のお祭りでも地域活性化補助金は活用できるのか伺う。
答弁	地域のお祭りも地域活性化に資するもので、要件を満たす場合は対象となる。
総括	最小の経費で最大の効果が得られるよう、より一層の努力と審査の結果を、平成31年度予算編成に反映されたい。

住民教育常任委員会 質疑応答

(鶴岡委員長、川嶋副委員長、関委員、本吉委員、山崎委員、三枝委員)

質疑	食生活改善健康づくり推進事業について伺う。
答弁	食生活の教室、特定健診の期間には食のレシピの配布、検診の手伝いをボランティアで行っている。また、年7回の研修に参加して食生活の知識を深めている。
質疑	平成29年度特定健診の受診者数について伺う。
答弁	受診者数は739名であり、受診率については44.3%である。今後は受診者対策として国の助成を受け、受診結果のデータ、性別、年齢等により内容の異なる勧奨通知の送付、健康増進教室を開く取り組みを行いたい。
質疑	駅伝の募集は何チームで打ち切ったか伺う。
答弁	平成29年度は150チームで打ち切ったが、平成30年度は160チームでの募集を考えている。
質疑	小・中学校の体育館にAEDや水の自動販売機の設置を提案するが伺う。
答弁	前向きに考えていきたいが、水の自動販売機については余分なお金を学校へ持って行くことになるため、学校長と相談したい。
質疑	夏休み期間中のプール開放日を10日間ではなく、20日間に延ばしてもらいたいと考えを伺う。
答弁	平成31年度はお盆頃まで延ばしたい。
総括	町当局においては、審査の中での指摘要望事項を真摯に受け止められ今後の行財政運営に期されることを望む。

編集後記

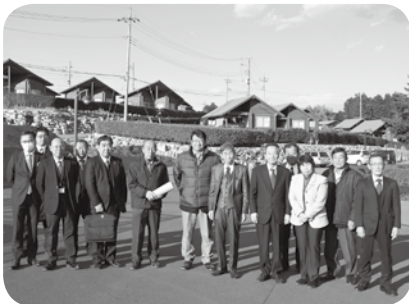
去る1月22日から23日にかけて常任委員会合同視察研修として、茨城県笠間市及び栃木県茂木町に行ってきました。

今回の視察は、移住・定住対策として二地域居住を提案している滞在型市民農園「笠間クラインガルテン」及び「ふみの森もてぎ」を視察し、本町が策定した長柄町まち・ひと・しごと創生総合戦略の一助とすることが目的でした。

移住・定住等について意見交換を行い、視察後の感想で議員からは、「移住者の方の声を、これから移住を考えている方に届ける仕組み作りや移住した後も移住して良かった、住み続けたいと思っていただくためのサポートが大切である」、「ながらまちに存在する多様な資源を活かし、地域の課題解決に向け注力していかなければならない」などの声が聞かれ、ながら創生に向けて意気込みを新たにしました。

その他、人命を守り、教訓を生かし災害に強い社会の実現を目標に掲げ研究活動をしている「つくば防災科学技術研究所」を視察し、建造物の耐震安全性向上に貢献するための大型模型の振動実験を実施している大型耐震実験施設や、300mmまでの降雨を再現でき、崖くずれのメカニズムを解明するための世界最大規模の大型降雨実験施設を見学しました。

今後とも議員全員が研鑽をし、スキルアップを図り、十分に議論を尽くし住民の負託に応えられるよう全力で努めてまいります。



笠間クラインガルテン



ふみの森もてぎ



つくば防災科学技術研究所

議会広報編集特別委員会

あなたも議会を傍聴しませんか

(次回定例会は3月1日(金)の予定です。)

議会では各種委員会も原則傍聴可能です。

次回は3月5日(火)、6日(水)に予算審査常任委員会が開催される予定です。

また、議会本会議の会議録を長柄町ホームページで公開していますので、是非ご覧ください。町民の皆様方のご意見、ご要望等ありましたら議会事務局までご連絡いただければ幸いです。

【問い合わせ先】 議会事務局 ☎35-2438